

2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 アルフレッサホールディングス株式会社

コード番号 2784 URL <http://www.alfresa.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保 泰三

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務企画部長 (氏名) 岸田 誠一 (TEL) 03-5219-5102

四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	663,825	2.7	9,879	57.5	12,514	43.8	8,346	43.3
2018年3月期第1四半期	646,687	0.3	6,271	△37.5	8,703	△31.9	5,825	△33.7

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 12,182百万円(47.6%) 2018年3月期第1四半期 8,252百万円(△27.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	38.62	—
2018年3月期第1四半期	26.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	1,350,908	436,932	32.3
2018年3月期	1,337,450	435,934	32.5

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 435,845百万円 2018年3月期 434,768百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	19.00	—	20.00	39.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	24.00	—	24.00	48.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2019年3月期における第2四半期末配当金および期末配当金には、それぞれ記念配当が3円含まれております。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,281,500	0.1	14,400	0.2	19,400	1.9	12,400	△4.1	57.94
通期	2,610,000	0.3	35,600	△14.7	45,700	△11.9	33,000	△7.3	155.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期 1Q	235,017,600株	2018年3月期	235,017,600株
② 期末自己株式数	2019年3月期 1Q	20,501,475株	2018年3月期	18,341,083株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期 1Q	216,126,151株	2018年3月期 1Q	216,678,329株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2018年4月1日～6月30日)におけるわが国の経済は、原料高や人件費の上昇、海外経済の不確実性が懸念されるなか、個人消費は持ち直し、景気は緩やかに回復しております。

当社グループは、当期を最終年度とする3か年の中期経営計画「16-18中期経営計画 明日への躍進」(以下、「16-18中計」)におけるグループ経営方針(Challenge 3)に掲げた「グループ一体となった事業強化」「健康・医療関連領域の拡充」「環境変化に先駆けた事業モデルの変革」の実現に向けて取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間における当社の業績は、売上高6,638億25百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益98億79百万円(同57.5%増)、経常利益125億14百万円(同43.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益83億46百万円(同43.3%増)となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

① 医療用医薬品等卸売事業

医療用医薬品市場におきましては、2018年4月の薬価ベース平均7.5%薬価引き下げ改定の影響があったものの、全体として市場は1.9%の成長となりました(クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社推定)。

当社グループでは、厚生労働省より公表され2018年4月からスタートしました「医療用医薬品の流通改善に向けて流通関係者が遵守すべきガイドライン」を最重要課題として、“経済合理性に立った取引の推進”“単品単価契約の推進”“早期妥結の推進”に取り組んでおります。

また、当社グループは医療用医薬品NO.1卸として「16-18中計」の重点施策として掲げた「営業機能の改革・物流機能の改革」の推進や「グループ全体最適」の追求により、事業基盤のさらなる強化を進めております。

「営業機能の改革」の一環としては、グループをあげてMS(マーケティング・スペシャリスト)が専門資格である医療経営士の認定資格取得に取り組んでおります。当社グループでは医療経営士を、医療と介護、生活者を繋ぎ、地域の連携を推進する重要な人財と位置付けており、今後の地域包括ケアシステムへの対応やお得意先における様々な課題・ニーズの解決に積極的に関与することによって、日本の医療の発展に貢献してまいります。

「グループ全体最適」への取り組みとしては、連結子会社間の事業譲渡、事業統合を進めております。2018年7月に株式会社恒和薬品(本社：福島県郡山市)は、北海道エリアにおける同社の医療用医薬品等卸売事業をアルフレッサ株式会社(本社：東京都千代田区)へ事業譲渡いたしました。また、2018年10月に株式会社恒和薬品と株式会社小田島(本社：岩手県花巻市)は合併してすべての事業を統合し、東北アルフレッサ株式会社(本社：福島県郡山市)として発足する予定です。

また、当第1四半期から高知県を営業基盤とする子会社アルフレッサ篠原化学株式会社(本社：高知県高知市)が連結子会社に加わりました。

これらの結果、当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高5,842億67百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益90億64百万円(同92.0%増)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高43億33百万円(同26.3%増)を含んでおります。

② セルフメディケーション卸売事業

セルフメディケーション卸売事業におきましては、「16-18中計」の重点施策として掲げた「さらなる事業基盤の強化」「付加価値営業の強化」に引き続き取り組んでおります。

利益率の高い専売商品の販売拡充により、安定的な売上と利益確保に努めた結果、当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高680億76百万円(前年同期比2.6%増)、営業利益6億82百万円(同4.5%増)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高7億16百万円(同82.4%増)を含んでおります。

③ 医薬品等製造事業

医薬品等製造事業におきましては、「16-18中計」の重点施策として掲げた「安心・安全・誠実なモノづくりの推進」「製造受託・医薬品原薬事業の推進」「製品ラインアップの拡充と販売力強化」「海外事業の拡充」に引き続き取り組んでおります。

2018年4月の薬価引き下げ改定の影響等により、当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高101億62百万円(前年同期比4.3%減)、営業利益3億6百万円(同61.3%減)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高20億31百万円(同4.6%減)を含んでおります。

また、「製品ラインアップの拡充と販売力強化」への取り組みとして、連結子会社であるアルフレッサ ファーマ株式会社(本社：大阪市)は、第一三共株式会社(本社：東京都中央区)および同社の子会社である第一三共エスファ株式会社(本社：東京都中央区)が日本において製造販売を行っている長期収載品41製品の製造販売承認および資産等を譲り受けることについて2018年7月31日付けで契約を締結いたしました。

④ 医療関連事業

医療関連事業におきましては、「16-18中計」の重点施策として掲げた「収益力の向上」「業態変化への取り組み」に引き続き取り組んでおります。

2017年10月に連結子会社の株式会社日本アポック(本社：埼玉県川越市)が株式会社ユースケア(本社：東京都千代田区)を合併したことによる増収効果はあったものの、2018年4月の診療報酬改定の影響により、当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高84億円(前年同期比6.1%増)、営業損失2億33百万円(前年同期は営業利益82百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

資産は、前連結会計年度末と比較して134億57百万円増加し、1兆3,509億8百万円となりました。

流動資産は、92億78百万円増加し、1兆298億26百万円となりました。これは主として、「受取手形及び売掛金」が197億97百万円増加した一方で、「現金及び預金」が47億25百万円減少ならびに「有価証券」が40億10百万円減少したことによるものです。

固定資産は、41億78百万円増加し、3,210億81百万円となりました。これは主として、「投資有価証券」が15億63百万円増加ならびに「土地」が8億23百万円増加したことによるものです。

② 負債の部

負債は、前連結会計年度末と比較して124億59百万円増加し、9,139億75百万円となりました。

流動負債は、159億62百万円増加し、8,701億97百万円となりました。これは主として、「支払手形及び買掛金」が136億87百万円増加ならびに「賞与引当金」が11億52百万円増加した一方で、「未払法人税等」が8億83百万円減少したことによるものです。

固定負債は、35億2百万円減少し、437億78百万円となりました。これは主として、繰延税金負債等の「その他」が31億6百万円減少したことによるものです。

③ 純資産の部

純資産は、前連結会計年度末と比較して9億98百万円増加し、4,369億32百万円となりました。

これは主として、「利益剰余金」が31億9百万円増加ならびに「その他有価証券評価差額金」が37億30百万円増加した一方で、「自己株式」が59億13百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期決算期における市場の動向および当社グループの業績は概ね計画通り推移しており、本年5月11日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	191,874	187,149
受取手形及び売掛金	612,920	632,718
有価証券	4,010	—
商品及び製品	128,726	125,832
仕掛品	1,321	1,437
原材料及び貯蔵品	3,682	3,960
その他	78,418	79,173
貸倒引当金	△406	△444
流動資産合計	1,020,548	1,029,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	50,345	50,881
土地	65,248	66,071
その他（純額）	21,292	22,339
有形固定資産合計	136,886	139,292
無形固定資産		
のれん	5,081	5,145
その他	7,057	6,707
無形固定資産合計	12,138	11,853
投資その他の資産		
投資有価証券	148,260	149,823
その他	23,882	24,412
貸倒引当金	△4,266	△4,300
投資その他の資産合計	167,876	169,935
固定資産合計	316,902	321,081
資産合計	1,337,450	1,350,908

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	814,589	828,276
短期借入金	859	670
未払法人税等	10,460	9,577
賞与引当金	7,545	8,698
その他	20,779	22,974
流動負債合計	854,235	870,197
固定負債		
長期借入金	1,213	1,241
退職給付に係る負債	14,041	13,617
その他	32,025	28,918
固定負債合計	47,281	43,778
負債合計	901,516	913,975
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,454	18,454
資本剰余金	101,945	101,958
利益剰余金	257,016	260,126
自己株式	△16,025	△21,938
株主資本合計	361,391	358,600
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	75,725	79,456
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	△3,948	△3,948
為替換算調整勘定	133	119
退職給付に係る調整累計額	1,467	1,618
その他の包括利益累計額合計	73,376	77,244
非支配株主持分	1,165	1,086
純資産合計	435,934	436,932
負債純資産合計	1,337,450	1,350,908

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高	646,687	663,825
売上原価	602,847	615,256
売上総利益	43,839	48,568
返品調整引当金戻入額	704	696
返品調整引当金繰入額	616	697
差引売上総利益	43,927	48,568
販売費及び一般管理費	37,656	38,688
営業利益	6,271	9,879
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	867	749
受取情報料	1,492	1,529
その他	410	500
営業外収益合計	2,784	2,792
営業外費用		
支払利息	24	22
持分法による投資損失	264	20
不動産賃貸費用	31	59
その他	31	54
営業外費用合計	351	157
経常利益	8,703	12,514
特別利益		
固定資産売却益	134	0
投資有価証券売却益	1	0
受取補償金	17	—
特別利益合計	153	1
特別損失		
製品回収関連費用	142	—
固定資産売却損	15	0
固定資産除却損	15	16
減損損失	—	229
投資有価証券評価損	71	0
その他	—	1
特別損失合計	244	247
税金等調整前四半期純利益	8,612	12,267
法人税、住民税及び事業税	2,976	9,055
法人税等調整額	△183	△5,102
法人税等合計	2,793	3,952
四半期純利益	5,819	8,314
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,825	8,346
非支配株主に帰属する四半期純利益	△6	△31

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,388	3,730
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△21	△13
退職給付に係る調整額	60	156
持分法適用会社に対する持分相当額	4	△4
その他の包括利益合計	2,432	3,868
四半期包括利益	8,252	12,182
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,257	12,214
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	△31

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメ ディケーシ ョン卸売事業	医薬品等 製造事業	医療関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	564,329	65,953	8,485	7,918	646,686	0	646,687
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,432	393	2,128	—	5,954	△5,954	—
計	567,761	66,346	10,614	7,918	652,641	△5,954	646,687
セグメント利益	4,720	652	790	82	6,246	24	6,271

(注1) セグメント利益の調整額24百万円には、セグメント間取引消去1,781百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△1,757百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメ ディケーシ ョン卸売事業	医薬品等 製造事業	医療関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	579,933	67,359	8,131	8,400	663,825	—	663,825
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,333	716	2,031	—	7,082	△7,082	—
計	584,267	68,076	10,162	8,400	670,907	△7,082	663,825
セグメント利益	9,064	682	306	△233	9,819	59	9,879

(注1) セグメント利益の調整額59百万円には、セグメント間取引消去41百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用18百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。